

第3回「一般国道191号道路法面崩壊検討会」及び 第1回「今後の法面对策のあり方検討会」の開催結果について

道路整備課

1 要旨

平成30年6月6日(水)に一般国道191号において発生した道路法面崩壊を受け、「一般国道191号道路法面崩壊検討会」を設置し、被災原因の究明、復旧工法の検討、再発防止に向けた今後の法面对策のあり方について検討してきた。

この度、第3回「一般国道191号道路法面崩壊検討会」を開催し、今後の法面对策のあり方検討に関する留意点を取りまとめるとともに、県下全域にわたる法面对策のあり方を検討していくため、新たに「今後の法面对策のあり方検討会」を設置し、第1回検討会を開催したのでその結果について報告する。

2 第3回「一般国道191号道路法面崩壊検討会」について

(1) 開催概要

- ① 日 時：令和元年6月12日(水) 10:00～10:30
- ② 場 所：広島県庁 北館4階 第2委員会室
- ③ 構成委員：裏面参照

(2) 開催結果

第2回「一般国道191号道路法面崩壊検討会」での審議事項である「斜面勾配」「斜面高さ」から抽出した斜面の区分評価結果について事務局から報告するとともに、今後の法面对策のあり方検討を進めるうえでの留意点を取りまとめた。

3 第1回「今後の法面对策のあり方検討会」について

(1) 開催概要

- ① 日 時：令和元年6月12日(水) 10:30～11:30
- ② 場 所：広島県庁 北館4階 第2委員会室
- ③ 構成委員：裏面参照

※「一般国道191号道路法面崩壊検討会」構成委員に国土交通省国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人土木研究所、オブザーバーとして国土交通省中国地方整備局を追加。

(2) 開催結果

第3回「一般国道191号道路法面崩壊検討会」で取りまとめた留意点に基づき議論した主な意見は次のとおり。

①「斜面勾配」「斜面高さ」から抽出した斜面の危険度の評価について

- LPデータやGISソフトを活用して抽出した「斜面勾配」 50° 以上、「斜面高さ」5m以上の斜面(9,060箇所)を対象にそれぞれの斜面毎に危険度評価を実施する。
- 危険度評価を実施するにあたり、地形・地質要素、被災履歴・防災点検結果及び現地調査結果を加味して評価を行う。
- 危険度評価の結果を踏まえて路線の重要度などを加味した総合評価を行い、法面の整備方針に反映させる。

②LPデータを活用した危険箇所の把握や効果的な法面点検手法について

- LPデータを活用したことでより詳細な現地状況の把握が可能となることから、落石などの恐れのある箇所についても取りまとめる。
- 今後、これらを踏まえて取りまとめる斜面データ等を活用し、効率的・効果的な点検手法について新技術の活用も視野に検討する。

③道路利用者への被災リスクの周知について

- 道路利用者の被災リスク低減のため、今後取りまとめる斜面データ等を活用し、現地で危険な箇所が確認できる工夫など危険箇所の周知方法について検討する。

4 今後の予定

- 検討会での意見を踏まえ、速やかに現地調査等を実施し、抽出した斜面の危険度評価を行う。
- 落石などの恐れのある箇所についても速やかにデータを取りまとめるとともに、効率的・効果的な法面点検手法や道路利用者への被災リスクの周知方法についての検討を行う。

【一般国道 191 号道路法面崩壊検討会 構成委員】

所属	役職	氏名
広島大学 防災・減災研究センター	特任教授	つちだ たかし 土田 孝
広島大学大学院 総合科学研究科	教授	かいほり まさひろ 海堀 正博
広島工業大学 工学部環境土木工学科	教授	もりわき たけお 森脇 武夫
福山大学 工学部建築学科	教授	たなべ かずやす 田辺 和康
呉工業高等専門学校	教授	しげまつ たかひさ 重松 尚久

【今後の法面对策のあり方検討会 構成委員】

所属	役職	氏名
広島大学 防災・減災研究センター	特任教授	つちだ たかし 土田 孝
広島大学大学院 総合科学研究科	教授	かいほり まさひろ 海堀 正博
広島工業大学 工学部環境土木工学科	教授	もりわき たけお 森脇 武夫
福山大学 工学部建築学科	教授	たなべ かずやす 田辺 和康
呉工業高等専門学校	教授	しげまつ たかひさ 重松 尚久
国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室	室長	わたなべ かずひろ 渡邊 一弘
国立研究開発法人 土木研究所 地質地盤研究グループ	上席 研究員	あさい けんいち 浅井 健一

オブザーバー

所属	役職	氏名
国土交通省 中国地方整備局 道路部	地域道路 調整官	わだ まさや 和田 昌也